

## 授業の概要

歯の欠損に伴う咀嚼・発音などの機能低下の回復と顔貌の回復を図るとともに残存歯、顎堤粘膜および顎関節などを保護し、口腔に調和するように形態、機能の両面から修復、改善し、新たな病変の予防や口腔の保全を図るため生物学的理論および理工学的理論を多角的に理解する。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■授業時間：水曜日（偶数日） 18：00～18：45

■オフィスアワー：中林 晋也 ([nakabayashi.shinya@nihon-u.ac.jp](mailto:nakabayashi.shinya@nihon-u.ac.jp))  
偶数日の水曜日 17：00～17：45

■成績評価：前期：定期試験（40％）と平常試験（10％）  
後期：定期試験（50％）で評価する。  
平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■注意事項：講義に教科書を持参すること。

■授業方法：講義形式、歯科技工士国家試験、既出問題の確認を行う。第15回に平常試験と解説を行う。

■準備学習：講義項目について教科書を読み、学習到達目標を理解しておくこと。

■準備学習時間：講義時間と同等の時間の予習と復習を各自で行うこと。

■実務経験；中林 晋也：現在、日本大学歯学部附属歯科病院に在職している歯科医師の立場から、適切な補綴装置を製作するうえで、本教科で学ぶ内容の知識、理論および技工操作がどのように重要であるかを講義していく。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回9月4日 中林 晋也	1. 部分床義歯の咬合調整と研磨 教) pp. 227-230	・咬合調整および研磨を説明できる。
第2回9月18日 中林 晋也	2. 修理とリベース、リライン 教) pp. 232-249	・破折と破損の原因を説明できる。 ・修理方法を説明できる。 ・リベースとリラインの目的を列挙できる。 ・リベースとリラインの方法を説明できる。
第3回10月2日 中林 晋也	3. 部分床義歯の咬合調整と研磨 教) pp. 227-230	・研磨および義歯の修理を説明できる。
第4回10月16日 中林 晋也	4. オーバーデンチャー 5. 金属床義歯 6. その他の有床義歯 教) pp. 250-273	・オーバーデンチャーの目的と種類を説明できる。 ・金属床義歯の利点と欠点を列挙できる。 ・金属床義歯の製作方法を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第5回 10月30日 中林 晋也	7. 第1回から第4回までのまとめ	・前期, 後期を通して部分床義歯学の総合的知識を確認できる。